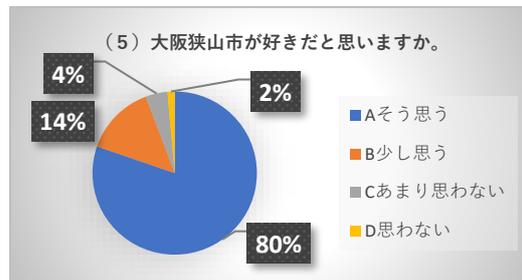
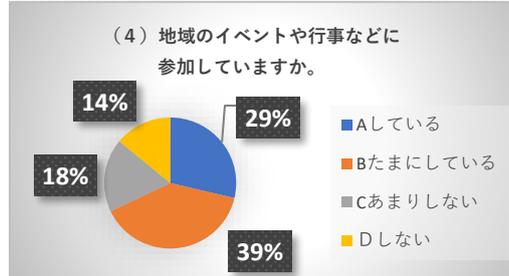
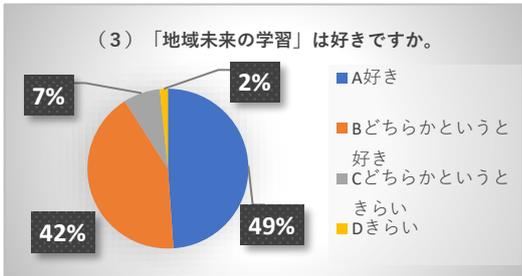
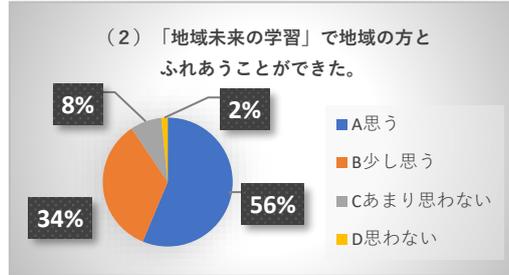
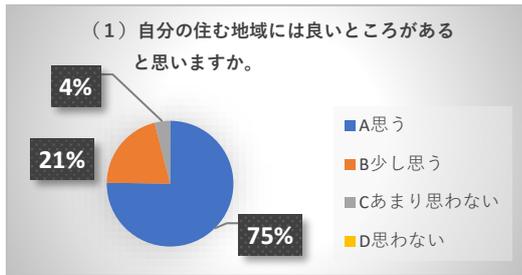
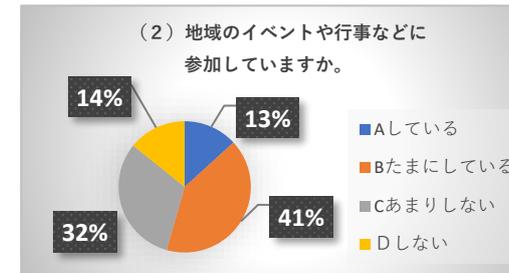
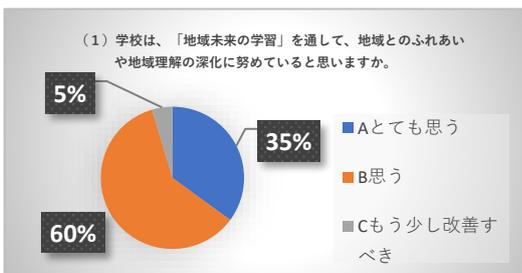


「地域未来の学習」 大阪狭山市立第七小学校 アンケート結果

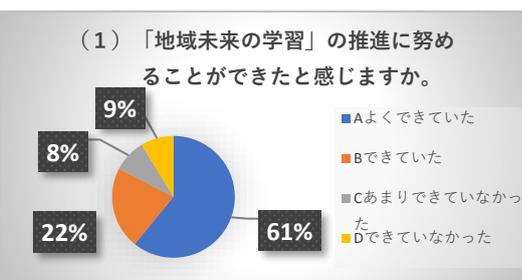
1. 児童・生徒アンケート



2. 保護者アンケート



3. 教職員アンケート



<考察>
 児童アンケート(1)、(2)、(3)、(5)の質問に対して、児童の約90%が肯定的な回答を示しました。今年度の地域未来の学習は、児童と地域の方々が触れ合う機会となり、児童が自分の住む地域の良さに気づき、大阪狭山市が好きだという気持ちを持つきっかけになったと考えています。また、これらの取り組みを約95%の保護者が肯定的に捉えています。
 一方で、「地域のイベントや行事などに参加していますか」という質問に対する肯定的な回答は、児童が約69%、保護者が約54%と、他の質問に比べて低くなっています。休日の習い事などで参加しにくい状況が考えられますが、学校としてもポスターの掲示などを通じて情報発信に努めています。
 教職員アンケートでは、約83%が肯定的な回答を示しました。各教職員が主体的に地域未来の学習を推進できたと考えています。